



きりんぱんだのおたより

進級おめでとうございます。新たにきりん組4名、ぱんだ組9名、計13名の縦割りクラスが始まりました。また1つお兄さんお姉さんになった子どもたちは、新しい環境の中でも毎日元気いっぱい過ごしています。



4月の様子

きりん組、ぱんだ組に進級したことで新たに覚える生活習慣がたくさんあります。特にぱんだ組は上靴を履いたり、お当番活動が始まったり、お昼寝がなくなったりと、生活が大きく変わりました。最初は上靴を履き忘れたり、恥ずかし

さからみんなの前で発言出来なかったり、体力がついていかに給食の後の自由あそびの時に、床で眠ってしまったりする姿が見られました。その中で保育教諭が声かけをすることもありますが、きりん組のお兄さんお姉さんが優しく教えてあげる姿も見られました。子どもたち同士で教え合うことで、親近感が湧いてより意識するようになり、習慣が身に付きやすいこともあります。進級して1ヶ月間、このようにして毎日過ごすことで、生活習慣もたくさん身に付いてきました。これからも保育教諭が約束事や活動内容を全て決めるのではなく、子どもたちがやりたいことや興味のあることを汲み取り、子どもたちが主体となれるような保育や環境設定にしていきたいと思ひます。

縦割り保育

今年度もきりん組、ぱんだ組が同じ保育室で過ごします。このように異年齢の子どもたちが同じクラスと一緒に過ごすことを「縦割り保育」と言ひます。異年齢の子どもたちが一緒の空間で生活をするこゝで、たくさんの良いこゝや成長要素があります。

まず縦割り保育では、きりん組の子がぱんだ組の子に、様々なこゝを教へてあげることが出来ます。きりん組の子はぱんだ組の子とたくさん接することで、思いやりの気持ちや、年上としての責任感、教へることが出来たという自信に繋がっていきます。この1か月の間でも、お当番活動のやり方や玩具での遊び方、上靴の置き方など、たくさん教へてあげる姿がありました。

またぱんだ組の子がきりん組の子と関わるこゝで、たくさんの知識や学びを身に付けることが出来ます。きりん組の子がしている遊びや活動は、ぱんだ組の子にとって憧れです。その憧れの気持ちから、きりん組の子がしているこゝを目標にして、何でも意欲的に取り組もうとし、向上心に繋がったり、自立を促したりします。実際にきりん組の子がしている遊びを教へてもらいながら一緒にやってみる姿もあります。また、きりん組の子に優しくしてもらおうと、自分自身も同じように年下の子に優しく接することが出来るようになります。

このようにきりん組の子にとってもぱんだ組の子にとってもたくさんの良いこゝがあります。今後も縦割り保育の長所を活かし、子どもたちの成長を見守っていきたく思ひます。
澤江 成樹・一瀬 和子



※忘れ物等がないように、ご確認下さい！！

- 10日(火) ゴミ拾い活動 体操服で登園をし、着替えを持って来て下さい。
- 11日(水) 豆腐団子作り 6日(金)までにエプロン、三角巾、マスクに記名をして持って来て下さい。
- 17日(火) 体操教室
- 20日(金) 身体測定
- 21日(土) 親子バス遠足(中止)
- 31日(火) お誕生会

